

会 報

平成16年度第1回日本公衆衛生学会理事議事録

- I 日 時 平成16年 4月27日(火)13:30~16:40
- II 場 所 東京厚生年金会館
- III 出席者 理事長 多田羅浩三
 学会長 多田 學
 理 事 相澤好治 入山文郎
 大井田隆 角野文彦
 金川克子 小林廉毅
 近藤健文 佐藤 洋
 實成文彦 篠崎英夫
 新庄文明 嶋本 喬
 中川秀昭 中原俊隆
 藤田利治 藤崎清道
 松田 朗 三角順一
 村嶋幸代 (21名)
 監 事 能勢隆之 (1名)
- 委任状提出者
 副会長 中島雪夫 錦織 勝
 永田伸之 (3名)
 理 事 阿彦忠之 遠藤 明
 澁谷いづみ 伊達ちぐさ
 (4名)
 監 事 宮武光吉 (1名)

オブザーバー

岸 玲子(北海道大学大学院医学系研究科教授)

現在理事数28人,出席者21人,委任状提出者7人
 学会規定第13条第1項による定数に達している
 ことを確認の後,多田羅浩三理事長が議長となり
 開会を宣した。議事に先立ち多田羅理事長から挨拶
 があった。

財日本公衆衛生協会の佐藤博幸事務局長から
 新任の挨拶があった。

議事録署名人の選出

議事録署名人に近藤健文,松田 朗理事が指名
 された。

議 事

第1号議案 第62回(平成15年度)日本公衆衛生 学会総会について

多田 學学会長から資料に基づき,以下のとお
 り説明があった。

1. 学会長講演は「地域に根ざした公衆衛生活動」
 とした。特別講演Ⅲで「古代出雲の文化」,教育
 講演7で「宍道湖・中海汽水域の今昔」として,
 開催地の特徴をだすこととした。
2. シンポジウムは7題予定しており,うち2題
 は会員から公募した「時の話題」として「公衆衛
 生医師の確保方策と公衆衛生の向上に向けて」と
 「人畜共通感染症のサーベイランスの重要性」を
 取り上げることとした。
3. 公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会主
 催のフォーラム「公衆衛生看護の人材育成の向上
 をめざして」を開催する。

以上につき,本議案は了承された。

第2号議案 第64回(平成17年度)日本公衆衛生 学会総会について

岸 玲子次期学会長から,以下のとおり説明が
 あった。

1. 準備は順調に進んでおり,5月26日に第1回
 実行委員会を開催予定である。
2. 会期は平成17年9月14日から16日とし,13日
 に関連行事,付随行事を行う。学会総会は北海道
 が担当するが,付随行事等については札幌市が担
 当することとなる。
3. 北海道知事には名誉学会長に,札幌市長には
 顧問に就任していただき,副会長には札幌市保健
 福祉局長,北海道保健福祉部長,北海道医師会長
 をお願いすることとした。

以上につき,本議案は了承された。

第3号議案 第64回(平成17年度)日本公衆衛生 学会総会について

中川秀昭理事から,前回の理事会で候補地にあ
 がった北陸ブロックについて,関係者との話し合
 いの結果,富山医科薬科大学鏡森定信教授を学会
 長に富山市で開催することの提案があり,全会一
 致で了承された。

第4号議案 その他

近藤理事から,特許庁の指定学術団体に申請の
 要望書が届いたことと,特許法第30条等に基づく
 学術団体,博覧会に関する指定手続き等について
 説明があった。

検討の結果,会員への1つのサービスと考えて
 いいのではないかとの意見がだされ,今後の対応
 については理事長に一任された。

報告事項

1. 委員会報告

1) 編集委員会

小林編集担当理事から英文誌発行の公告と投稿規定についての説明と原著以外の論壇等について執筆依頼をしたい旨報告があった。

2) 公衆衛生研修委員会

近藤健文委員長から、4月7日開催の委員会について報告があった(詳細については委員会報告を参照)。

また、委員長が近藤理事から大井田隆理事に交代したい旨報告があり、了承された。

臨床研修時の給与について質問があり、今のところ地域保健・医療についてははっきり決まっていない旨説明があった。

3) 地域保健委員会

阿彦忠之委員長欠席のため多田羅理事長から4月9日開催の委員会について報告があった(詳細については委員会報告を参照)。

4) 感染症対策委員会

角野文彦委員長から4月16日開催の委員会について報告があった(詳細については委員会報告を参照)。

AIDSの検討については、学校保健学会などいろいろな関連学会、団体と協力した方がよいのではないかと意見がだされた。

5) 公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会

金川克子委員長から4月2日開催の委員会(詳細については委員会報告を参照)と、4月24日開催の(ワーキンググループを含む)委員会について説明があった。保健師教育の教育課程について整理分析し、いくつかの検討案を考えたが、5月中に各委員の意見を集め、6月11日にワーキンググループを含めた委員会を開催する。

6) IT化検討委員会

中川秀昭委員長から4月7日開催の委員会の報告があった(詳細については委員会報告を参照)。

平成16年度は名簿を作成することとし、そのための準備を進めることが了承された。

2. 第71回日本医学会定例評議員会について

2月24日に開催された第71回日本医学会定例評議員会に出席した近藤理事から、日本医学会役員選挙結果、九州での医学会総会の報告と次回医学会総会(大阪)の準備状況および平成15年度医

学会に新規加盟した学会は日本高血圧学会である旨報告があった。

また、日本医学会評議員、連絡委員、医学用語委員および代委員の選出の依頼について検討した結果、評議員には多田羅理事長を選出し、連絡委員、医学用語委員および代委員については従来どおり、中原俊隆理事、小林廉毅理事、岡崎勲編集委員長をお願いすることとした。

3. 科学研究費補助金審査委員候補者の推薦について

中原理事より予防医学研究連絡委員会委員長から第1段25人第2段18人、環境保健学委員会委員長から第1段5人第2段1人の適切な研究者情報の提供の依頼があり、相澤理事、多田羅理事長と協議の上、評議員から候補者を推薦し、本人の承諾を得て、各委員長に情報を提供した旨報告があった。

4. 名誉会員の推戴等について

入山理事から名誉会員の候補者を5月中に事務局宛、推薦してほしい旨依頼があった。

5. その他

1) 藤崎清道理事から、保健所長の医師資格要件の見直しについて説明があった。

2) 多田羅理事長から指名理事の全国衛生部長会会長の森田理事が退職のため会長職を退かれたため、新会長は5月18日の部長会総会で決定の予定との報告があった。

3) 多田奨励賞選考委員長から、奨励賞の推薦について多くの方に推薦してほしい旨依頼があった。

4) 近藤理事から以下の後援名義使用の依頼について承諾した旨報告があった。

- 日本禁煙推進医師歯科医師連盟 緊急シンポジウム「無煙タバコか健康か」

- 日本循環器管理研究協議会 第17回日本循環器病予防セミナー

次回理事会は7月20日(火)東京厚生年金会館で1時半から開催の予定である。

以上で議事を終了し、多田羅理事長が閉会を宣した。

平成16年度第1回 公衆衛生研修委員会議事要旨

日時 平成16年4月7日(水)13:15~15:15

場 所 日本公衆衛生協会 5階役員室
 出 席 近藤健文（委員長）、大井田隆、澁谷いづみ、藤田利治、多田羅浩三（理事長）
 欠 席 佐藤 洋、實成文彦、村嶋幸代

1. 多田羅理事長から、保健所長の職務の在り方に関する検討会報告書、3月17日に開催した「地域保健・医療」卒後臨床研修に関する連絡協議会について報告があった。

2. 今年度の委員会活動について検討した結果は下記のとおり。

1) 昨年のワークショップの報告書は5月を目途に作成中である。

全国保健所長会、保健医療科学院でも同様の研修を予定しているの、学会主催の指導者研修のワークショップは今年度は開催しないこととするが、「地域保健・医療」研修の動向については引き続きフォローしていく。全国保健所長会主催の指導者研修会については、学会としてできるだけ協力する。

2) 保健所長の職務の在り方に関する検討会報告書の「公衆衛生医師の確保と公衆衛生の向上に向けて」の節で、「日本公衆衛生学会による保健所長をはじめとした公衆衛生医師に対する教育、研修、情報提供等の協力」という記述があり、本学会の活動が注目されている。このことを踏まえ、公衆衛生従事者の資質の向上について、会員が本学会にどのようなことを望んでいるのか、学会のホームページを利用して意見を募集することとする。実際のよびかけ文や質問項目については次回委員会で検討する。

3. 近藤委員長から所属が大学から異動したので委員長を交替したい旨申し出があり、新委員長として、大井田委員が互選された。

平成16年度第1回 地域保健委員会議事要旨

日 時 平成16年4月9日(金)13:30~15:15

場 所 日本公衆衛生協会 3階会議室

出 席 阿彦忠之（委員長）、澁谷いづみ、藤嶋清道、三角順一、多田羅浩三（理事長）

欠 席 嶋本 喬、實成文彦

議題：

1. 今後の活動について

地域保健に関する最近の課題の中から、本年度は「児童虐待」をテーマに検討を行うこととした。

児童虐待防止法の施行により、全国的に虐待防止に関する取り組みは促進されたが、現場の対応については地域格差がある。そこで、児童虐待の予防方策を全国的に推進する観点から、本学会として何ができるかを検討することとした。次回の委員会では、国内の専門家や厚生労働省（虐待防止対策室）の担当官を招いて意見を伺いながら、具体的な検討を行うこととした。

2. 禁煙指導ガイドラインの作成について

これについては、国内9学会合同の作成班（事務局：日本循環器学会）に本学会の代表として参加している阿彦委員長から経過報告があった。医師（すべての診療科）や歯科医師が日常診療や健診等の場で禁煙指導を効果的に実施するためのガイドラインを作成中であり、本学会は「総論」部分の執筆を担当。本学会の会員2名（大阪府立健康科学センターの中村正和氏、及び神戸市灘区保健福祉部の園潤氏）の協力を得て作成中の原稿の説明があり、意見交換した。ガイドラインの最終原稿は5月末に提出予定であり、各委員からも修正・加筆等に関する意見をもらうこととした。（合同班会議や外部評価を経て、16年度内に完成予定。）

また、同作成班からは、公共交通機関や公共施設の禁煙（無煙化）に関する要望書をJR各社や都道府県知事等あてに出すことも計画している。これについては、本学会のたばこ対策に関する行動宣言の方針に沿う活動であり賛同するが、作成班ではなく9学会として提出したほうがよいという意見が出された。

3. 健やか親子21に関する報告について

健やか親子21推進協議会参加団体としての平成15年度の活動報告については、未成年の喫煙対策及び予防接種など、学会総会での活動を中心に報告することとした。

16年度の活動計画については、喫煙対策と児童虐待防止に関する取り組みのほか、第63回総会のプログラムを反映させたいので、次回の理事会で確認後に報告することとした。

平成16年度第1回 感染症対策委員会議事要旨

日時 平成16年4月16日(月)16時～17時30分
場所 日本公衆衛生協会5階 役員室
出席者 角野文彦(委員長), 新庄文明, 砂川富正, 丹野嵯喜子, 多田羅浩三(理事長)
欠席者 阿彦忠之, 藤崎清道, 藤田利治, 吉澤浩司

1. 感染症フォーラムの報告

角野委員長から、昨年の学会総会の感染症フォーラムを基に「感染症予防と健康危機管理」というタイトルで冊子を日本公衆衛生協会から発行した旨報告があった。

2. 今年度の活動について

各委員から、今後検討する感染症対策として、AIDS, BSE, 風疹, MRSA, 感染症と食中毒, などが挙げられた。

検討の結果、今年度は、AIDSに焦点をしばらく、学会としてできる活動を検討することとした。

現実の数値、現状を把握するため、専門家に講演していただくこととした。

次回委員会は5月17日(月)4時からの予定。

平成16年度第1回 公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会議事要旨

日時 平成16年4月2日(金)13:30～16:30
場所 日本公衆衛生協会3階会議室
出席者 金川克子(委員長), 大井田隆, 角野文彦, 實成文彦, 村嶋幸代
欠席者 伊達ちぐさ, 多田羅浩三(理事長)

検討事項

1. 自由集会(H15.10.22日本公衆衛生学会開催時)
「公衆衛生看護における人材育成のあり方をめぐって」のまとめについて前回は学士課程を中心にワークショップを行ったが、今回は引き続き卒業後教育・研修についてワークショップを行い、そのまとめと今後の方向について検討した。(委員会報告として学会誌で報告したい)

2. 今後の方向

1) 地域看護学の大学院等のモデルコアカリキュラムの検討を行う。

平成16年4月24日(土)公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会(ワーキンググループを含む)を開催する。

2) 第3回フォーラム(シンポジウム)の開催
「公衆衛生看護の人材育成の向上をめざして」
日本公衆衛生学会総会(島根)で開催の予定。
(H16.10.28)

平成16年度第1回 IT化検討委員会議事要旨

日時 平成16年4月7日(水)10時～13時
場所 日本公衆衛生協会3階 会議室
出席者 中川秀昭(委員長), 小林康毅, 近藤健文, 藤田利治, 三浦宜彦, 多田羅浩三(理事長)

1. ホームページの運用方法について

1) リンクについて

- 各医学会学術総会や医学会のホームページに関するリンク依頼があれば、IT委員長が事務局と相談してリンクをはる
- その他のリンク依頼に関しては、委員長が各委員と相談して決めるが、必要なものに関しては理事会の承認を得る。
- 衛生学会、産業衛生学会、その他必要学会へのリンクの設置は、委員や理事からリンク先をリストアップしてもらった上で、委員の中で協議決定し、リンク先へ依頼を行う

2) 掲示板について

- 掲示板の一般運用は、個人攻撃、商業宣伝等に使われる恐れがあり、しばらく見合わせる
- その代わりに、既設の掲示板システムを利用して、会員ページの中に新たに「学会への意見」を投稿する場所をもうける。但しこれは一般に公開しないで、学会事務局に届くようにする。それを多田羅理事長、並びに関連する理事(例、編集に関する問い合わせは編集担当理事に)に配布する。理事長や担当理事と相談の上、公開で回答した方がよいものは、新たに「会員へのお知らせ」欄を設け、そこに掲載する。
- 新設の「会員へのお知らせ」欄は、その他

必要事項のお知らせにも使用する

2. 名簿作成について

平成16年度の名簿の作成方針は以下のようにする

1) 名簿作成日程予定

- 5月 調査表はがきの印刷
- 6～7月 個人データの入力
- 7月上旬 調査表を封書で送付
- 8月末 封書による変更届の受付締め切り
- 9～10月 変更データの入力
- 10月末 ホームページ（会員ページ）での変更届受付締め切り
- 11月下旬 最終校正
- 12月 完成 発送

2) 名簿に載せる会員

16年度の会費納入者（島根の学会総会時支払者まで含む）と16年度新入会者

3) 名簿の内容

- 目次
- 学会規程 奨励賞の内規
- 学会役員
- 歴代の学会長一覧
- 名誉会員
- 普通会員（県一括会費納入等の場合は、普

通会員として登録されていれば掲載する。但し重複は避ける。）

• 索引

- 学会ホームページのアドレス

4) 留意点

- はがきではなく封書で送る（個人情報保護）
- 調査表の回答は出来るだけホームページを利用してもらうようにする
- 名簿に載せる際に、勤務先と自宅に分けないで本人が希望する方を「連絡先」として載せる（自宅を削除した方がよいとの意見があり、自宅しか連絡方法がない場合もあるので、本人に選択してもらうこととした）
- 総会時の入会者には、名簿に掲載することを前提に掲載する項目をチェックしてもらう
- 返事の連絡がない場合は雑誌送付先を掲載するが、最初の変更案内時にその旨断る

3. その他

- 名簿を利用して選挙作業もできないかとの提案があったが、現段階では規定等の問題もあり困難である。次回の委員会で論議してもらうこととする